

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	入居者の重度化やスタッフ人員によって、業務優先や職員主体になっている場面がある。	生活場面において入居者ととものできることを増やしていく。	個々の入居者へのアセスメントからできることを見出していく。(家事全般より)そのうえで、スタッフ間で情報を共有し、生活場面での関わりを積極的に行っていく。	6ヶ月
2	37	上記同様に、職員主体になりがちなので、入居者が自己決定する場面が少なくなっている。	自己決定できる場を増やしていく。	介助場面や家事全般のお願いなど声掛けを基本として本人の意思決定を待つことを大切にする。スタッフがあたりまえに行っている業務の中でひとりひとりゆとりを持って関わることを推進していく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。